

ご挨拶

ご来場の皆様、本日はようこそつおけ！第3回「不」定期演奏会にお越しくございました。
私の日ごろの行いがよかったためか、お日柄もよく、絶好の演奏会日和となりました。
これもひとえに私の日ごろの行いがよかったために違いありません。

早いもので、私が2009年末にオーケストラ結成を思いついてから早3年と少し。
けつおけ！は3回目のコンサート開催と相成りました。
3は素数ですから、素数を支持するけつおけ！としては、いわゆる一つの節目のコンサートとなるわけです。
ドラゴンクエストもファイナルファンタジーも、3は名作と呼ばれていますね。

前回、前々回とコンサートにいらした方ならご存知かとは思いますが、
当団はアマチュアオーケストラとしては回数が少なめの、リハーサル5回で本番に臨んでおります。
これ冗談でもなんでもなくて、本当の話。
さらに全員が集まるのが毎度本番直前のリハーサル（つまり今日ですね）のみというこの緊張感。
果たしてどんな演奏になるのか、やってみなければ分からない、という極限状態。
そのハラハラドキドキ感をお楽しみいただければ幸いです。

けつおけ！は大切にしているものが3つあります。それは、「ノリ」と「勢い」です。
平均年齢わずか24.205歳というスーパーヤングフレッシュバワフルハイパーポリスメンな長所を活かし、
ちょっと変わった演奏をお届けしたいと思います。
これを機に、クラシック音楽を身近に感じていただける人が一人でも増えればと思ってやみません。

この文章を読んでも、「何故けつおけ！なのか」、「ケツパットとは何なのか」という二点に関しては一切解決いたしませんが、
それはまた次の機会にという事で。気になる方は毎回くるしかないという事です。

本日は生憎のお天気となりましたが、お足元が悪い中お越しくくださった、
これを読んでくださっている全てのお客様に心より感謝いたします。
短い時間ではございますが、最後までどうぞごゆっくりお楽しみください。
「最後まで」どうぞごゆっくりお楽しみください。
【最後まで】どうぞごゆっくりお楽しみください。
つまり、途中で帰らないでくださいねという意味です。

けつおけ！代表 西園寺エリカさん

指揮 市原 雄亮

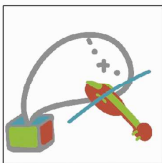


新潟県上越市生まれ
成蹊大学法学部法律学専攻。4歳よりピアノを始める。中学時代にチューバに出会い、後にトロンボーンに転向。
高校卒業後は音楽大学へは進まず、法学部に学ぶ。大学在学中に吹奏楽の指導や講習会を経験。
川本統樹氏より薫陶を受け、指揮を本格的に学び始める。
法学と指揮を学びながら大学を卒業。その後2006年より指揮者としての活動を開始。
現在、複数のオーケストラで指揮者として活動する他、地域の学校の音楽部の指導や、アマチュア作曲家によるオーケストラ向け作品の初演、録音にも積極的に関わると、既存のクラシック音楽に限らない指揮活動にも力を入れている。
2011年には神奈川県フィルハーモニー管弦楽団指揮者オーディション1次審査を突破。
好物はカレーと生牡蠣とヤングコーンとゼーレと枝豆。
その指揮者らしからぬ活動と言動から海外からも注目が高まっており、
2017年には世界的なオーケストラであるロイヤル・コンセルトヘボウに客演指揮することが決定して……たらいいなぁと思っている。（「海外からも」以降、ここでも妄想）
世界から注目は集めていないが、色々と温めてはいるらしく、今後の活動から目が離せない。と前回のコンサートのプロフィールに書いた事が実現しつつあり、有言実行。氏の今後の活動は要チェックである。
座右の銘は「Let me entertain you」。
トロンボーンを高階忠、三輪純生の両氏に、指揮を金丸克己氏に師事。

【市原雄亮どっといんふん】 <http://185us.com/> 【Twitter】@dirigent_lyo
ファンタレー、不幸の手紙他宛先 >>> dirigent.lyo@gmail.com

コンサートミストレス

ヴァイオリン 小林 明日香



東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。
第10、13回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。
第58回全日本学生音楽コンクール名古屋大会高校の部第1位。
第11回KOBEL国際学生音楽コンクール広島楽器A部門最高位の優秀賞、及び神戸市長賞。
第3回から三年間、スイスのレナタ夏期国際音楽アカデミーにてアデリーナ・オブレアンのマスタークラスを受講、教授の推薦により現地で演奏会に出演。
これまでにヴァイオリンを今岡康代、故・上田明子、澤和朗、故・東儀暁、沼田園子、山崎貴子、アデリーナ・オブレアの各氏に、ヴィオラを川崎和雄氏に師事。
現在、同大学院音楽研究科修士課程音楽文化専攻音楽教育研究分野在籍。

クラシックの演奏だけでなく、音楽教室での講師、邦楽アーティストのレコーディングやライブサポートなど、多方面において積極的に活動している。

Today's Menu

～本日のお品書き～

4'33"

John Milton Cage (1912 - 1992)

4分33秒 / ジョン・ケージ



Le nozze di Figaro

Wolfgang Amadeus Mozart (1756 - 1791)

Peter Ilyich Tchaikovsky (1840 - 1893)

Arr. by Elicazne

フィガロフスキーの結婚 / モーツァルト、チャイコフスキー、エリカズネ編



Akademische Festouvertüre

Johannes Brahms (1833 - 1897)

大学祝典序曲 / ヨハネス・ブラームス



Intermission (15min.)

休憩 (15分)



Symphonie Nr.1 in c-moll op.68

Johannes Brahms (1833 - 1897)

交響曲第一番 ハ短調 作品68 / ヨハネス・ブラームス

1st movement : Un poco sostenuto - Allegro

2nd movement : Andante sostenuto

3rd movement : Un poco allegretto e grazioso

4th movement : Adagio - Più andante - Allegro non troppo, ma con brio - Più allegro



And...??



4'33”



✿ —ドヴォルザークの交響曲第8番 1楽章にて— ✿

「さ〜け〜飲んで吐いて飲んで吐いて飲んで〜♪」

「あるあるある(笑)」

✿ —チャイコフスキーの交響曲第6番 3楽章にて— ✿

「今夜はビールを飲も〜♪」

「あるあるある(笑)」

✿ —ベートーヴェンの交響曲第9番 2楽章にて— ✿

「ティンパニ！ ティンパニ！
ティンパニッ ティンパニッ！♪」

「あるあるある(笑)」

✿ —飲み会の席にて— ✿

「フィガロの結婚とチャイ4(*1)が混ざった
曲を演奏するオケってたまにあるよね♪」

「あるあるあ r ……ねーよ!!!!」

*1)チャイコフスキーの交響曲第4番

ブラームス交響曲第1番

この曲は1876年に、ヨハネス・ブラームス(*1)が初めて完成させた(*2)交響曲(*3)である。

- 第1楽章(*4)：ウンポコ(*5) ソステヌート(*6) – アレグロ(*7)
- 第2楽章(*8)：アンダンテ(*9) ソステヌート
- 第3楽章(*10)：ウンポコアレグレット(*11) エ(*12) グラツィオーソ(*13)
- 第4楽章(*14)：アダージョ(*15) – ピウ(*16) アンダンテ – アレグロ ノントロポ(*17) マ(*18) コンプリオ(*19) – ピウアレグロ

—注釈—

- *1) 19世紀ドイツの作曲家、ピアニスト、指揮者。バッハ、ベートーヴェンと共に、ドイツ音楽における「三大B」と言われる事もある。1833年ハンブルクに生まれ、1897年ウィーンに没する。享年63歳。とにかくすごい人だから名前だけでも覚えて！
- *2) 完成までに20年かかったらしい。すごい執念だ。初めての交響曲だから「第1番」。その後、生涯で第4番まで完成させた。交響曲は作った順に1番から数字を増やしていく。ブラームスの交響曲第4番と言ったら、ブラームスが4番目に完成させた交響曲であるという事。でも例外は沢山あるから気をつけよう。
- *3) 複数楽章から構成(主に4楽章構成が多い)され、主に管弦楽により奏される大規模な楽曲。英語ではシンフォニー(Symphony)と呼ばれる。複数楽章のうち、一つはソナタ形式(説明がとっても面倒なので、興味のある人は調べてみてね)である事が必要とされるが、当たり前のように例外は多いから気をつけてね。
- *4) 1番目の楽章だから第1楽章。スピード感溢れる快活なソナタ形式である事が多い。序奏がある事もあり、第1番にも存在する。最初のゆっくりな部分の事で、速くなるまでが序奏だヨ。
- *5) un poco。「少し」という意味。語感の面白さから、小中学生に人気爆発！
- *6) Sostenuto。「音を十分に保持して」もしくは「速度を抑え気味に」という意味。スピード狂の車に乗ったときに「ソステヌート！ソステヌート！」と言っても通じないので注意が必要だ。
- *7) Allegro。「快速に、陽気に」という意味。暗い曲にも使われるから、陽気にだからといってニコニコしていると痛い目を見るぞ。使い勝手の良い速度記号なので良く使われる。大変頻出。テストに出ます。
- *8) 2番目の楽章だから第2楽章。緩徐楽章(ゆっくりな楽章)である事が多い。実に緩やかな曲調でありながら、時に激烈な感情を伴う事もあるユニークな楽章。眠くなる人が多い。トロンボーンは寝てる。
- *9) Andante。「歩くような速さで」という意味。第2楽章はアンダンテとソステヌートの掛け算だ。計算してみよう！
- *10) 3番目の楽章だから第3楽章。メヌエット、スケルツォ(説明省略)と呼ばれる三拍子の舞曲である事が多い。がこの曲では採用しなかった。ブラームスは交響曲にメヌエット、スケルツォは採用しなかった。しなかったといったらしなかった。
- *11) Allegretto。「やや速く」という意味。どれくらいやや速いのかというと、アレグロより少し遅くらいとされている。「アレグロよりちょっと遅く」ではダメなんですか！？遅くなのか速くなのかハッキリしろ！
- *12) e。「そして」という意味。英語でいう「and」。「え？」と聞き返しているわけではないので気をつけろ！
- *13) Grazioso。「優美に、優雅に」という意味。色や形ではなく、音で優美な感じを出すのってどうしたらいいんですね。
- *14) 4番目の楽章だから第4楽章。大抵の場合、最終楽章になる。スピード感のある快活な曲である事が多い。
- *15) Adagio。速度記号の一つ。「アダジオ」と発音する人も中にはいるが、わざとなので本気にしないように気をつけなさい！
- *16) Piu。「さらに、より」という意味。この単語、実は厄介で、Piu Andanteと言われたらアンダンテより速くなって、Piu Adagioって言われたらアダージョより遅くなるんです。どうしてかは考えてみよう。第四回までの宿題です。
- *17) non troppo. nonはそのままですね。「あなたの事なんてノンよ！」と言われたら辛いですね。ただし、英語でいうとnoではなくnot. non troppoで成句なので切り離す事はできない。「あまりはなはだしくなく」という意味。
- *18) ma。「しかし」という意味。次の単語であるcon brioと繋がって「しかし活気を持って」となる。
- *19) con brio。「活気を持って」という意味。寒ブリではない。今思いついたけど、「活きのいい寒ブリを」と覚えてもいいかも。すなわち、Allegro non troppo ma con brioで「あんまりはなはだしく速くなくしてほしいけど、でも活気を持って演奏してくれよな！」というブラームスの身勝手さが爆発しているわけで、こういう事をするから数百年後の人たちがどうしていいやら分からず苦しんでいる事をブラームスには知ってほしいと思います。

連載小説

「われわれはどうして

大学祝典序曲を演奏することになったのか」

第三回「ブラームス登場」

『過去のあらずし』

地球を二度にわたる滅亡の危機から救った市原氏だったが……？
(過去の連載についてはこれまでのプログラムをご覧ください)

第三回「不」定期演奏会が終わってから半年ほど経った頃。

そろそろ第参回に向けて動き出さねばという事になり、けつおけ！の運営会議が居酒屋「Golten KIRIN」で開催されていた。

四人がけの席に通されたけつおけ！運営の面々。

市原の他、古林、萩原、小久保、社、上條、名瀬河と七名連れだった彼らは、

袖触れ合うも他生の縁という心境でいっばいであつた。

まさにこの状況を表すには不適切なことわざと言えらるう。

全員が暗い面持ちしていると、まず市原が口を開いた。

「いやあ、しかし寒いねえ。古林さん、今何月だったけ？」

「……何で知らないんですか？」

「まあいいじゃない。何月だったけ？」

「一月……ですけど」

「一月！一月か！つまり素数の月だね！よね！よね！」

名美川が苦虫を噛み潰したような顔で言った。

「いや、だから前から何度も言ってますけど、「は素数じゃな——」

「まあまあまあ！いいじゃない！素数って事で！ね！」

「素数だから何だと言ってるんですか……」

けつおけ！では数少ない常識人であると目されている——目されているだけで

事実かどうかは不明だが——名美川がグツッとしたような口調で言うと、

五メートル先から萩原が素っ頓狂な声をあげた。

「素数！私、素数大好きですよ！一月に会議なんて最高じゃないですか！

震えるぞハート！」

「燃え尽きるほどハート！聞いてください、私最近全巻一気に読んだんです！」

古林が興奮した面持ちで萩原の話に割り込む。

いつもの事だが、こうなると、もはや会議どころではない。

「何の話？分からない人もいるんだから、そういう一部の人が分かるような話は

よくないよね。一部の人にだけ分かればいいのかという態度でいるとクラシックもだね……」

開始十五分で早くも日本酒を五合消費した市原が遺書を語り出した。

対して八合を飲みきっている小久保が負けじと、

「はち！はちはち！はち月がいい！はち月にコンサートやりたい！」

小久保は異常なまでに八にこだわりを持っている。既に日本酒を八合飲んでいたので、

これ以上日本酒は飲まないだろう。

「あああああ、もうよく分からないしプログラムのスペースが足りないから、

三曲目は大学祝典序曲でいいよ！ね！」と言原。

「ああ、あのヨハネス・ブラームスが、一八七九年にドレスラウ大学から名誉博士号を

授与されたお礼に、学生歌を四曲ほど繋ぎ合わせた管弦楽曲として

一八八〇年に作曲し、日本では三重の大学受験ラジオ講座に使用された事で有名で、

今でもテレビ番組をはじめ様々な場面で耳にする事が多いユーモア溢れるあの曲です

ねええええええええええええ！」

と社が絶叫した。それを聞き終わるや否や、上條。

「すみません、お会計お願いしますーす」

「いやいや、まだ会議始まったばかりだし！山車！出汁巻き玉子ください！」

To be continued... 第四回へ続く